

自然林保全事業

[620]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0101	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 産業課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>松、ナラ・カシ類(高度公益機能森林内)</p> <p>高度公益機能森林:水源かん養機能、山地災害防止機能が高く、各種防除措置を実施して保全していく森林</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>高度公益機能森林内の松林などが保全されている。</p>	<p>尾張旭市森林整備計画に基づき、事業を実施する。実施に当たっては、毎年度、実施計画書を県に提出する。(県補助事業)</p> <p>森林病害虫等防除</p> <p><マツクイムシ対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹幹注入(実施時期:11月~3月) 健全な松に薬剤を注入することにより樹幹内へのセンチウの侵入と増殖を防ぐ。 ・伐倒駆除(実施時期:11月~3月) 被害木を伐倒・破砕することによりカミキリの幼虫及びセンチウを駆除する。 <p><カシノナガクイムシ対策></p> <ul style="list-style-type: none"> ・樹幹注入(実施時期:4月~7月) 健全木(ナラ・カシ類)にカシノナガクイムシが樹幹内に持ち込むナラ菌の繁殖を抑制する薬剤を注入することにより被害を事前に防止する。 ・伐倒駆除(実施時期:9月~3月) 被害木(ナラ・カシ類)にくん蒸駆除薬剤を注入してカシノナガクイムシ及びナラ菌を殺虫殺菌し伐倒する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	森林病害虫防除面積(長洞地区面積)	ha	9	9	9	9	
	被害木伐倒材積	m ³	1	0	12	0	
成果指標	森林病害虫防除率	%	56	56	56	56	
事業費 計			198	226	310	221	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	89	117	229	42
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		109	109	81	179

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 非常に順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	事業を継続することで森林病害虫の発生を抑制できている。
--------	--	-----------------------------

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

吉賀池湿地保全事業

[623]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0102	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 産業課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>吉賀池湿地、市民</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>貴重な植物が生息する吉賀池湿地を保全し、市民が自然と触れ合う場を提供することにより自然環境保全の意識を高まっている。</p>	<p>貴重な植物等が生息する吉賀池湿地を保全する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吉賀池湿地の維持管理と植生調査等を委託 ・平成9年、19年度に設置した井戸の保守点検を実施 ・平成20年度に井戸の浚渫を実施 ・経年劣化している木道の修繕及び整備を実施 <p>市民に自然と触れ合う場を提供するため、一般公開を開催する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎年4月、6月、8月、9月、10月初め、10月末に開催 ・団体見学は随時募集 ・一般公開時のボランティアを募集(平成25年度～) ・一般公開時に寄付金を募集(平成26年度～)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	一般公開及び自然観察会の開催数	回	14	15	14	15	
成果指標	観察路整備率(全体事業費ベース)	%	100	100	100	100	
	来場者数	人	1,542	923	1,500	1,121	
事業費 計			1,060	1,076	3,233	3,212	
財源内訳		ア 国					
		イ 県					
		ウ 地方債					
		エ その他		39	43	339	27
		オ 一般		1,021	1,033	2,894	3,185

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	<p>(状況) 来場者数は昨年度実績と比べ21.5%向上している。</p> <p>(原因) 一般公開日が雨天のため2回中止になったが、メディア等で取り上げられた影響で来場者数が増えた。</p>
	【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

河川水質の浄化推進事業

[617]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0103	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市内の河川(矢田川、天神川)	3名の生活排水クリーン推進員の協力を得て、地域住民に生活排水対策についての情報を提供し水質保全につなげる。 河川の水質状況を把握するため水質調査を実施する。 ・河川水質定点調査の実施(年5回/4地点) ・工場排水水質調査の実施(6~8項目/2~3事業所) 小学生を対象に「水生生物調査」を実施し、環境保全への理解促進と意識の高揚を図る。 市民を対象として環境の日に合わせて「流域モニタリング」の参加者を募集し、また市内小中学生を対象とした「水質パトロール隊」も併せて募集することで、河川等の環境に対する理解を図る。 ・市民を対象に生活排水対策についてのリーフレットを配布し、家庭でできる水質汚濁防止を啓発する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
河川水質について現状を把握し、水質汚濁の防止を図る。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	調査項目検体数	検体	206	193	195	195
成果指標	BOD計画目標値の達成率	%	90	95	80	85
事業費 計			474	545	565	498
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般		474	545	565

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況)当初の目標は達成したものの、H29実績と比較すると10ポイント低下した。 (原因)冬季に高い数値が複数地点で計測されたことによるものである。冬季は水温の低下に伴い浄化施設の処理能力が低下し数値が悪化する傾向があるとともに、検査の前に降雨が少ない場合も数値が悪化する傾向があり、これらが数値悪化の要因の一端となっていると考えられる。
	【成果指標の状況】 低下 【成果向上余地】 余地が大きい	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

保存樹等保全助成金

[622]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0104	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	保存樹等、樹木所有者	保存樹等に指定された樹木の所有者に対し、維持管理費の一部を助成する。 指定基準 申し出に対して随時審査・指定を行なう。 ・保存樹 樹木の1.5mの高さにおいて幹の周囲が1m以上のもの 樹木の高さが12m以上のもの ・保存樹林 樹木が集団的に育成し、その土地の面積が300㎡以上のもの 助成の額 ・保存樹1本当たり2,500円/年 ・保存樹林1地区当たり10,000円/年以内
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	
保存樹等が適正に管理され保全されている。		

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	助成金の額	千円	68	68	85	68	
成果指標	適正に管理されている保存樹等の割合	%	100	100	100	100	
	新たに指定した保存樹・保存樹林の数	本	0	0	3	0	
事業費 計			68	68	68	68	
財源内訳		ア 国					
		イ 県		22			
		ウ 地方債					
		エ その他		68	45	68	67
		オ 一般			1		1

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調 【成果指標の状況】 維持・横ばい 【成果向上余地】 余地が小さい・なし	(状況) 保存樹等は適正に管理されているが、新たな指定は無かった。 (原因) 助成制度の周知不足が要因と考えられ、更なる周知が必要。
--------	---	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

エドヒガンザクラ保存事業

[1282]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0105	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略	
基本事業	01	緑・水辺の保全	担当	都市整備部 都市整備課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	エドヒガンザクラ	平成26年9月議会で採択された、城山町地内に自生するエドヒガンザクラを保存するため、策定した保存計画に基づいて事業を進める。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	平成27年度 エドヒガンザクラ保存計画策定 平成28年度 境界測量、不動産鑑定評価 平成29年度 用地購入、実施設計 平成30年度 整備工事
	エドヒガンザクラが保存されている。また、エドヒガンザクラ周辺が、市民の憩いの場、安らぎの場として整備されている。	ふるさと納税制度も活用する。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	m ² 当たりの整備費用(整備費/対象面積)	千円		0	14	11
成果指標	公園に満足している市民割合	%	30	26	30	26.8
事業費 計			648	81,177	42,000	34,855
財源内訳		ア 国				
		イ 県		25,259	31,570	10,000
		ウ 地方債				
		エ その他				1,000
		オ 一般	千円	648	55,918	9,430

H30年度実績の評価

成果実績評価	【活動指標の状況】 順調	(状況) 成果指標は0.8ポイント向上している。 (原因) 平成30年度末に本整備が終了したため、来年度以降成果指標の更なる向上が期待される。
	【成果指標の状況】 維持・横ばい	
	【成果向上余地】 余地が中程度	

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	城山町地内に自生するエドヒガンザクラを保存し、自生地周辺を市民の憩いの場として整備します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
	城山町地内に自生するエドヒガンザクラを保存し、自生地周辺を市民の憩いの場として整備を実施した。		

緑化助成事業

[628]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0201	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	自己用住宅取得者 生垣設置者 民有地の敷地等に緑化をする者	住宅取得記念樹事業 自己用住宅を取得した者にその記念として敷地内に植樹することに対してその経費の一部を助成する。 自己用住宅を取得したことが明らかな書類(建築確認検査済証、家屋登記簿、購入契約書等)の提示により記念樹引換券(2,000円分)を交付 生垣設置助成事業 準公共空間である公道に面している箇所で、要件に適合した生垣を設置する者に対し、助成する。 ・新たに生垣を設置するとき1m当たり2,000円(限度額60,000円) ・ブロック塀から生垣に転換するとき1m当たり3,000円(限度額90,000円) 都市緑化推進事業 駐車場、壁面、屋上や宅地の緑化に対してその工事費の一部を補助する。
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	緑化の推進により、身の回りの緑が増えている。

助成制度の周知については、市広報、ホームページへの記事掲載、税務課家屋調査時における制度の啓発により行っている。

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	生垣設置助成箇所数	件	4	0	7	1	
	住宅取得記念樹助成申請件数	件	181	146	300	133	
成果指標	助成を行なった生垣の延長	m	50	0	140	14	
	記念樹引換件数	件	131	118	300	122	
事業費 計			2,861	2,346	4,200	492	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	2,347	2,110	3,500	222
		ウ 地方債					
		エ その他		514	232	700	240
		オ 一般			4		30

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 一部遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 生垣設置助成の申請が少なかった。 (原因) 市広報、ホームページ掲載等により、助成制度の活用について啓発を行っているが、制度についての周知がまだ不足していることが原因であると考えられる。</p>
--------	---	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0202	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	02	緑の創出と育成	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>地域住民によるボランティアグループ シンボルロード、尾張旭・旭前・印場駅前広場 市民 公共施設(道路、公園、学校等)</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <p>30年度分の 持管理 緑の育成や環境美化に対する市民意識の高揚 ひまわり栽培による家庭緑化推進 公共施設の緑化推進 適切な緑化行政を推進する体制の構築 緑あふれるまちづくりに要する費用への充当</p>	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】 スポットガーデン維持管理 スポットガーデンの整備については、市と地域住民によるボランティアグループとの協働により行う。市は、花壇の築造、案内標識の設置、維持管理に必要な資機材の提供等を行い、ボランティアグループは、花壇の企画、維持管理などを適時行う。 花苗植替(消耗品費) フラワーボット設置箇所に、1年を通して花が咲くように水やり等の維持管理を行なう。また適時(春、秋)花のを植替えを実施する。 家庭緑化推進(消耗品費) 公共施設窓口及び各小学校にてひまわりの種を配布する。(7,000袋) 公共施設緑化(緑化推進事業植栽工事) 施設管理者と植樹計画について調整を行い、当該敷地内における植樹を実施する。 (緑化推進事業費補助:対象事業費×1/3以内植栽計画箇所:市道巡検道線、維摩池)愛知県緑化推進委員会負担金 上記委員会へ加入し負担金の支払、各種研修の参加、緑化行政動向の把握をする。 緑化推進基金積立金 公共施設(市役所、公民館等)に募金箱を設置し寄付を募る。 基金の積立及び一部取崩しにより、緑化推進事業植栽工事等の事業へ充当する。</p>

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	公共施設における植樹本数	本	571	1,199	2,000	3,987	
	ボランティア活動報奨金	千円	372	461	650	432	
成果指標	公共施設の緑化推進事業箇所数	箇所	4	3	5	4	
	スポットガーデン総面積	m ²	121	149	177	135	
事業費 計			13,159	11,609	12,488	13,548	
財源内訳		ア 国					
		イ 県	千円	433	450	3,270	3,270
		ウ 地方債					
		エ その他		4,843	4,120	9,079	8,432
		オ 一般		7,883	7,039	139	1,846

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が小さい・なし</p>	<p>(状況) 公共施設の緑化事業箇所数は増加しているが、スポットガーデンは減少した。 (原因) ボランティア団体等への継続した活動支援が必要。また、新たな団体を育成していく事も必要となってきている。</p>
--------	---	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

矢田川散歩道整備事業

[636]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0302	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	03	緑・水辺とふれあえる場づくり	担当	都市整備部 都市整備課	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	矢田川河川敷、市民	<p>【都市計画マスタープラン掲載重点事業】</p> <p>市南部の緑の環境軸である矢田川河川敷に散策路を整備する。併せて植樹等により緑化を行う。</p> <p>平成16年度 基本計画策定(住民との協働)</p> <p>平成17年度 水辺協議会設立(地域住民、教育関係者等参加)、調査設計</p> <p>平成18年度～ 調査設計、意見交換会、整備工事</p>
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p>市民団体による自主的な維持管理などの活動を目指し、計画策定段階からワークショップを開催し、整備箇所についても協働により進める。</p> <p>やすらぎ歩道接続点から上流の散歩道延伸は愛知県の河川改修整備後に行う。</p> <p>平成30年度以降の自転車道整備について検討する。(基本設計を行う。)</p>
	市民が自然とふれあい、景観を楽しみながら散策できるようになっている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	散策路の整備延長(単年度)	m	470	0	500	429	
	ワークショップ等開催回数(ワークショップ、協議会、清掃作業、自然観察会など)	回	3	3	3	4	
成果指標	市内の水辺空間を利用したことがある市民割合	%	60	48	60	51	
事業費 計			4,646	701	9,400	8,516	
指標・事業費	財源内訳	ア 国					
		イ 県	千円	1,600		1,200	1,200
		ウ 地方債					
		エ その他					
		オ 一般		3,046	701	8,200	7,316

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 維持・横ばい</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 前年度に比べて市内の水辺空間を利用したことがある市民割合は増加している。</p> <p>(原因) 矢田川散歩道の延伸による効果が一つの要因と考えられる。</p>
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	市民が自然とふれあい、景観を楽しみながら散策できる散歩道の整備を進めます。 山辺の散歩道と合わせた散歩道のネットワーク化の実施時期を検討します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	
<p>宮下橋からやすらぎ歩道の接続点まで約430m散歩道の整備を実施した。</p> <p>山辺の散歩道と合わせた散歩道のネットワーク化については、看板設置以上の事業実施は現在想定していない。</p>			

自然環境基礎調査事業

[1273]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0901	実施計画	
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	簡易評価	総合戦略	
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 環境課		

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	市域内の自然環境	平成27年3月に中間見直しを行った「尾張旭市環境基本計画【中間見直し版】」において、生物多様性の保全に関する取り組みを効果的に推し進めていくため、市内の自然環境の分布や動植物の生息・生育状況に関する実態調査を行う。(法令の規定に基づく調査ではない。)
	意図(対象をどのような状態にしたいのか)	<p><手順></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成12年度に実施した自然環境基礎調査の報告書を踏まえ、市内における既存の自然環境に係る調査資料等を収集整理する。 自然環境の保全活動を行う市民団体等へのヒアリング調査を行い、自然環境及び動植物の生育状況に関する時点修正を行う。 市内の自然環境の特性を表わす環境指標種及び特定外来種の選定及び調査地点を検討し、実態調査計画書を作成する。 実態調査計画書に基づき、季節ごとの調査を実施する。 市内のいきものの情報を市民に伝えるための「いきものマップ」を作成する。
	野生動植物の生息・生育場所が把握されている。 外来生物の生息・生育場所が把握されている。	

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績
活動指標	現地調査回数	回	0	0	2	0
成果指標						
事業費 計						
指標・事業費	財源内訳	ア 国	千円			
		イ 県				
		ウ 地方債				
		エ その他				
		オ 一般				

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 遅延あり</p> <p>【成果指標の状況】 未設定</p> <p>【成果向上余地】 未設定</p>	
--------	--	--

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	維持
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	-

全国植樹祭推進事務

[1283]

事業の位置づけ

一般会計

政策	05	環境と調和したまちづくり	事務事業コード	53-0902	実施計画
施策	03	身近な緑・水辺環境の保全と創出	評価区分	通常評価	総合戦略
基本事業	09	(施策の総合推進)	担当	市民生活部 全国植樹祭推進室	

事業の概要(目的、手段)

事業目的と概要 (30年度分)	対象(誰、何に対して事業を行うのか)	手段(事務事業の内容、やり方、手順)
	<p>第70回全国植樹祭参加者 愛知県、市民、小中学生</p> <p>意図(対象をどのような状態にしたいのか)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国植樹祭の開催やPRを通じて、森林や緑に対する理解を深められている。 ・多くの市民が全国植樹祭に関わり、「全員参加のまちづくり」が推進されている。 ・全国植樹祭の開催を契機に、本市の魅力が発信されている。 	<p>【概要】 開催日：令和元年6月2日(日) 主催者：(公社)国土緑化推進機構及び愛知県 主要行事：天皇皇后両陛下によるお手植え・お手播き、各種表彰、記念植樹など</p> <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各小中学校において苗木のスクールステイ実施(平成28年秋～) ・全国植樹祭記念事業開催(平成29年～) ・全国植樹祭あさひサポーターの募集開始(平成29年8月～平成31年3月) ・全国植樹祭1年前イベントの開催(平成30年5月26日) ・プランターカバー作成イベントの開催(平成30年6月24日) ・モザイクアート原画募集開始(平成30年7月～平成30年10月) ・全国植樹祭開催日の決定(平成30年8月8日) ・全国植樹祭200日前イベントの開催(平成30年11月17・18日) ・全国植樹祭100日前イベントの開催(平成31年2月23日)

活動指標、成果指標、事業費の推移

指標名称		単位	28年度実績	29年度実績	30年度当初	30年度実績	
活動指標	市記者クラブ加盟社等への情報発信回数	回	2	5	4	10	
	外部関係者との打合せ開催回数	回	10	14	36	18	
成果指標	新聞、雑誌等で報道された第70回全国植樹祭に関する記事の件数	件	2	6	2	27	
	緑が多く、自然に恵まれていることが本市の魅力・良い点であると思う市民の割合	%	62	61.1	66	62.8	
事業費計			502	1,678	22,942	24,699	
財源内訳		ア 国	千円				
		イ 県				5,000	
		ウ 地方債					
		エ その他			465	1,670	1,737
		オ 一般		502	1,213	21,272	17,962

H30年度実績の評価

成果実績評価	<p>【活動指標の状況】 順調</p> <p>【成果指標の状況】 向上(最高状態維持含む)</p> <p>【成果向上余地】 余地が中程度</p>	<p>(状況) 成果指標「新聞、雑誌等で報道された第70回全国植樹祭に関する記事の件数」については、H29年度実績とH30年度実績を比較すると350.0%と大幅に向上している。</p> <p>(原因) 全国植樹祭1年前イベントを初めとした関連イベントの実施及び開催日の決定など、全国植樹祭に向けた市や国、県の取組がより詳細になり、活発化したことにより、報道機関の注目も高まったものと考えられる。</p>
--------	--	---

H30年度実施取組方針の実績評価

実施取組方針実績評価	H30年度実施取組方針	本部方向性	見直し
	平成31年春に開催される第70回全国植樹祭に向け、愛知県と情報共有を図り、必要な準備を進めます。会場市として、多くの市民とともに、全国植樹祭の開催機運を盛り上げる事業を展開します。		
	H30年度実施取組方針の実績評価	実施状況	

愛知県と定期的な打合せに加え、常時情報収集を行うことにより、全国植樹祭に向けて所要な準備を進めることができた。全国植樹祭の開催機運を盛り上げる事業として、1年前イベント、200日前イベント、100日前イベントを開催し、より多くの市民が主体的に参加するとともに多くの来場者で賑わった。また、あさひサポーターについては、平成29年8月15日から平成31年3月31日まで募集した結果、個人が1,228名、団体が4団体からそれぞれ登録申込があった。